

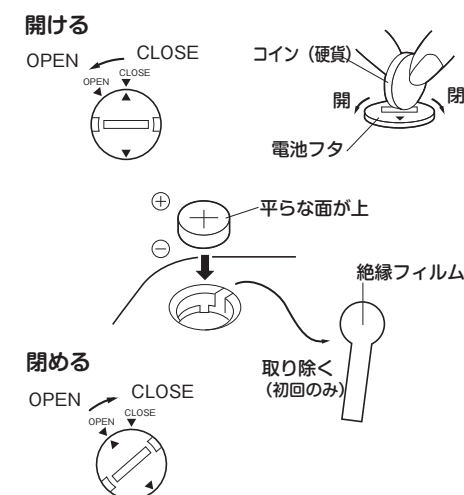
タイマー電池交換方法

電池の取付（タイマー）

1. 電池フタをコイン等でOPENの方向に回して取り外します。
2. 絶縁フィルムを取り除き（初回のみ）、電池の＋側（広い平らな面）を上にして正しく入れ直します。（電池が正しくセットされると「ピピピピピー」と約3秒間アラームが鳴ります。）
3. 電池フタをCLOSEの方向に回して閉めます。

■電池についてのご注意

1. お買い上げの商品に同梱されている電池は、作動確認用として工場から出荷されたときに同梱されたもので、使用可能期間は電池寿命の目安約1年間より短い場合があります。
2. 電池交換される場合は、必ず新しい電池をご使用ください。
3. 電池は早めに交換してください。
4. 長時間使用しないときは、電池を外しておいてください。



タイマーの保証とアフターサービスについて

本器付属のタイマーには保証書が付いています。

本器を購入された後、タイマーの保証書に必要事項をご記入の上、大切に保管してください。タイマーの保証期間は、お買い上げから1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合はお買い求めの販売店もしくは、当社お問い合わせ窓口（下に記載）にお知らせください。

お知らせいただきたいこと

型 式 AS-3
故障状態 できるだけ詳しく

転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は前もってお買い求めの販売店もしくは、当社お問い合わせ窓口（下に記載）にご相談ください。ご転居先での、販売店もしくは、最寄の当社サービス拠点を紹介させていただきます。

仕様表^{※1}

浸漬槽本体

型 式	AS-3
寸 法	幅 342mm × 奥行 217mm × 高さ 157mm
外 観	本体 樹脂 (PP) 製
製 品 質 量	約 865g (本体 2、フタ 1、トレイ 1、小物バスケット) (梱包、付属品は除く)
使 用 薬 液 ^{※2}	洗浄剤：酵素系浸漬洗浄剤 アセザイム 滅菌・殺菌消毒剤：過酢酸製剤 アセサイド 6% 消毒液
容 量	3L
付 属 品	タイマー、取扱説明書、保証書 (タイマーのみ)

タイマー（付属品）

型 式	AT - 10
精 度	セット時間 1 分につき ±0.3 秒以内 (常温使用時)
使用温度範囲	0℃～+40℃
表 示 方 法	液晶デジタル表示 (4 桁)
製 品 質 量	36g
機 能	減算タイマー (オートスタート)
セ ッ ト 時 間	5 分または 10 分
ア ラ ー ム	電子音ブザー 鳴り時間 30 分
使 用 電 池	DC1.5V アルカリボタン電池 LR44×1 個 (ただし、同梱の電池は作動確認用 保証対象外)
電池寿命の目安	約 1 年 (ただし、1 日 1 回約 30 秒鳴らした場合)

※1 本仕様は、性能向上の為、予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

※2 使用薬剤は、当社指定の薬剤をお使いください。他社の薬剤では思わぬトラブルの生じる恐れがありますので、お使いにならないでください。

お問い合わせ窓口
サラヤ株式会社 MDR事業推進本部
カスタマーサポートセンター

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06-6222-3378 URL.https://www.saraya.com/

電話受付：平日（土日および祝祭日、弊社休日を除く）9:00～18:00

●お問い合わせ窓口では、製品のご使用方法やメンテナンスに関するお問い合わせ、最寄りのサービス拠点のご案内を承っております。

アセサイド専用浸漬槽 AS-3 取扱説明書

このたびは、サラヤ アセサイド浸漬槽をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、この「取扱説明書」はアセサイドの使用手順パネルにもなります。タイマー（付属品）の保証書は大切に保管してください。

ご使用になる前のご注意

- 設置する際は、水平で丈夫なところを選んでください。
- 水洗設備のある場所でご使用ください。
- 落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 次のような場所では使用しないでください。
 - ・熱を出す器具や火気に近いところ
 - ・ほこりの多く発生するところ
 - ・油分を多く使用するところ
 - ・強い磁気が発生するところ
 - ・温度が40℃以上または0℃以下になるところ
 - ・長時間、直射日光のあたるところ
- アセサイドをご使用の際は必ず添付文書をよく読んで正しくお使いください。
- 使用液アセサイド第一剤は強い刺激臭があるので、換気設備のある部屋で保管、ご使用ください。
- アセサイド実用液による滅菌・消毒を行う際は、ゴーグル、マスク、ゴム手袋、ガウン等の保護具を着用してください。
- タイマーは分解したり、改造しないでください。故障の原因となります。
- タイマーの電池は幼児の手の届かない所に置いてください。（万一飲み込んだ場合は医師に相談してください。）
- タイマーの電池は火中に投入しないでください。破裂するおそれがあります。

各部品の名称

本体部



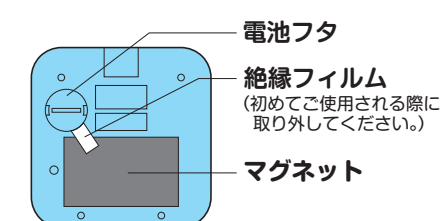
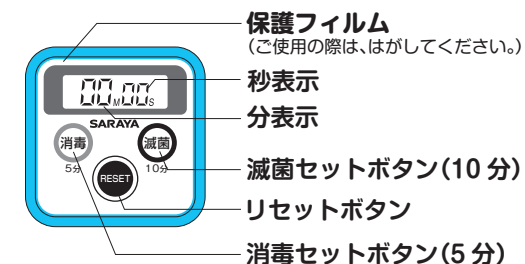
付属品



タイマー（付属品）

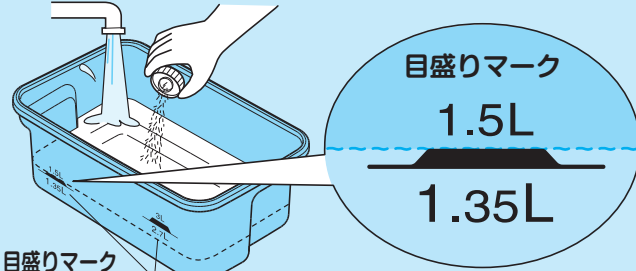
タイマーの各部名称

本体フタ中央部にタイマーを装着してご使用ください。



ただし、同梱の電池は作動確認用です。（詳しくは、タイマー電池交換方法の電池についてのご注意をご参照ください。）

酵素系浸漬洗浄剤 アセザイム洗浄液の調製方法



① アセザイム洗浄剤 (8～10g) を入れます。
② 目盛り線まで湯 (50℃まで) を入れ、軽にかき混ぜます。(1.5L) アセザイムの洗浄方法については、アセザイムの洗浄手順マニュアルに従ってください。

浸漬槽本体の側面には、目盛りマークがついています。

- 1.5L：洗浄剤アセザイム洗浄液1.5L調製用
- 1.35L：過酢酸製剤アセサイド実用液1.5L調製用

過酢酸製剤 アセサイド実用液1.5Lの調製方法

服装・安全用具について

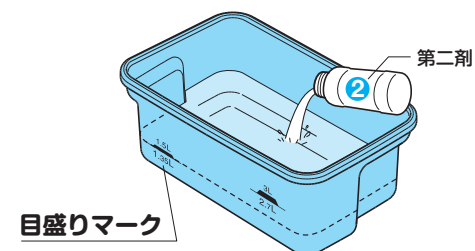
アセサイド実用液を調製または使用する際は、安全対策のため

- ゴム手袋
 - ガウン (エプロン)
 - マスク
 - 防護用ゴーグルを着用します。
- 感染及び消毒剤の付着、吸入を避けるためです。



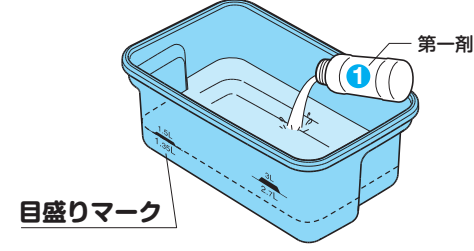
保護具着用例

① 水を入れ緩衝化剤②を入れる



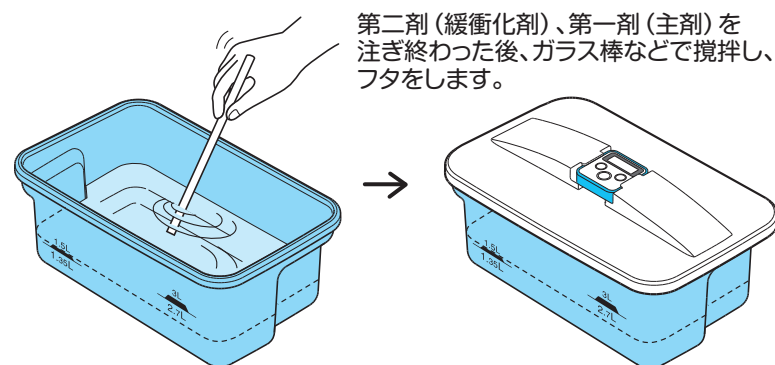
- ① 目盛りマークの下線の線まで精製水を入れます。(1.35L)
- ② 第二剤 (緩衝化剤) を注ぎ混和します。(75mL)

② 主剤①を入れる



- ③ 第一剤 (主剤) を混和します。(75mL) 開封時や注ぐ際、液が直接皮膚に付着した場合や液だれにご注意ください。万が一、付着したときは直ちに多量の水で洗い流してください。

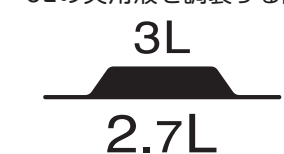
③ ガラス棒等でよく攪拌しフタを閉じる



第二剤 (緩衝化剤)、第一剤 (主剤) を注ぎ終わった後、ガラス棒などで攪拌し、フタをします。

アセサイド実用液3Lの調製方法

3Lの実用液を調製する際は、



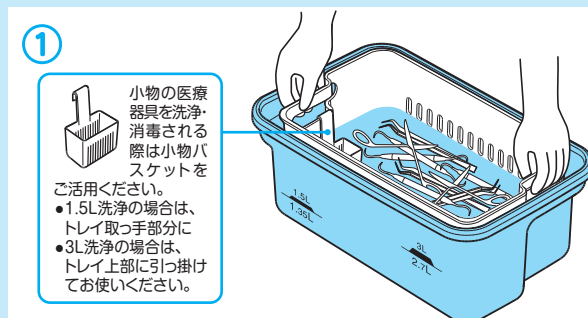
この目盛りマークで、アセサイド75mLを2セット用い同様の手順で調製してください。

洗浄と消毒手順

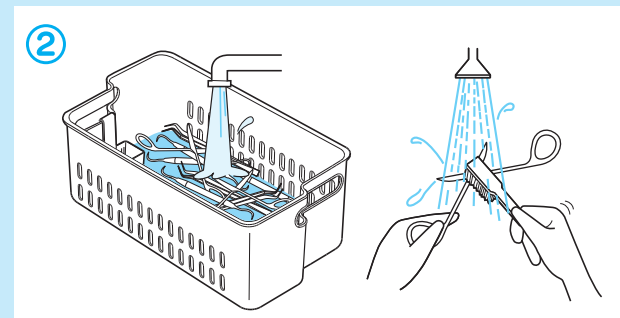
注意

- 薬液は必ず当社指定の薬液をご使用ください。他の薬液を使用されますと本体を傷める場合があります。
- アセサイドをご使用の際は必ず添付文書をよくお読みになって、正しくお使いください。

予備洗浄 (アセザイム洗浄液)



使用済み器具を入れたトレイを洗浄槽 (アセザイム洗浄液) に入れ予備洗浄します。浸漬時間10分以上。



浸漬洗浄後、器具は必要に応じてブラシもしくはスポンジを使い、流水ですすいでください。

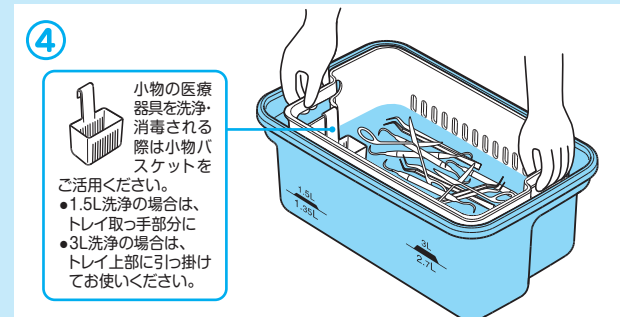
消毒・滅菌 (アセサイド実用液)



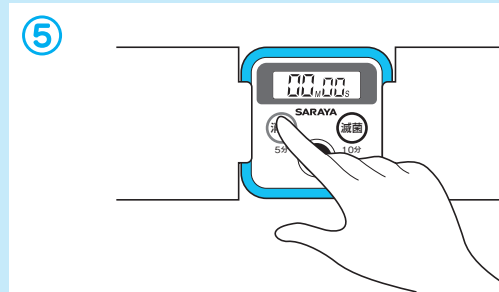
消毒・滅菌槽 (アセサイド実用液) を使用する前に必ずアセサイドチェッカーにて濃度チェックをしてください。

- チェックOKであれば④にすすみます。
- 不適合であれば、新たに調製をします。

詳しくは、アセサイドチェッカーの使用説明をお読みください。

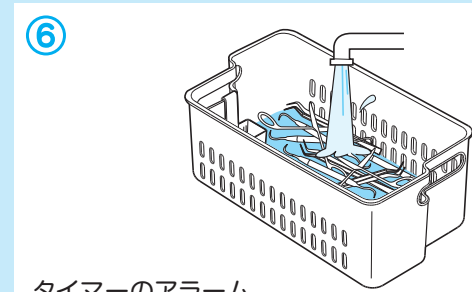


②で予備洗浄された器具類を入れたトレイを消毒滅菌槽 (アセサイド実用液) 内にゆっくりと浸漬し、フタをします。



消毒が滅菌が用途に応じ、タイマーをセットします。

- 通常、消毒は 5分。
- 芽胞の殺滅を要する滅菌の場合は 10分。



タイマーのアラーム音で消毒または滅菌が終了したことをお知らせします。取り出した器具を多量の滅菌水で十分水洗いをします。使用目的によっては流水を使用します。

■用法・用量に関連する使用上の注意

- (1) 過酢酸濃度が0.2%を下回る場合は十分な殺菌効果が得られないので、使用前に化学的インジケータ (例えば、アセサイドチェッカー) 等を用い実用下限濃度 (過酢酸濃度0.2%) 以上であることを確認すること。
- (2) 器具に付着している血液、体液等の有機物が本剤の効力や安定性に影響を及ぼすおそれがあり、又、生体物質中の塩化物が原因で器具に錆の発生や劣化が起こり得るので、消毒前に十分に洗浄し、目に見える汚れを除去すること。内視鏡等の構造の複雑な器具の洗浄方法については、メーカーの推奨する方法や学会等のガイドライン等に従うこと。
- (3) 器具に残存した水分による実用液の希釈が効力や安定性に影響を与えるおそれがあるので、洗浄後の器具の水気を十分に切ってから、実用液へ浸漬すること。
- (4) 過酢酸の残留は、市販のヨウ化カリウムでんぷん紙により検査できる。器具のすすぎに十分な条件をあらかじめ確認しておくこと。薬液の残留が検出される器具は、すすぎ時間の延長などにより適切なすすぎ方法を設定し、残留がないことを確認しておくこと。
- (5) 浸漬時間 5分間の浸漬では、器具が大量の芽胞に汚染されている場合に生残することがあるので、芽胞の殺滅を要する場合は、10分以上浸漬すること。器具によっては変色したりするおそれがあるので、連続1時間を越えて浸漬しないこと。
- (6) 浸漬処理の繰り返しにより、天然ゴム・生ゴム製品で、ひび等の劣化を生ずることがあり、殺菌効率も低下する。ゴムを使用した器具については、天然ゴムや生ゴムが使われているかどうかを確認すること。
- (7) 器具のひびや錆は、消毒効果を不十分にし、錆は実用液の安定性にも影響するので、ひびや錆のある器具には適用しないこと。
- (8) 安全対策 洗浄・消毒時は、感染性物質及び消毒液の付着や吸入を避けるために、ゴム手袋、ガウン、マスク、眼鏡等の保護具を着用すること。